

令和元年度の学校評価

本年度の 重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の在り方や授業改善について研究・実践する。 2 学業と部活動・学校行事との両立をさせるため、学習指導の連携を図る。 3 挨拶、身だしなみ、言葉遣い、マナー等の生活指導を教職員全体で取り組み、徹底する。 4 日々の健康観察を重視し、カウンセリングマインドを持って、心身の健全な成長を支援する。 5 3年間を見通したキャリア教育の推進で、主体的に進路選択のできる能力・態度を育てる。 6 地域行事やボランティア活動に積極的に参加し、地域を愛し、地域に貢献する態度を養う。 7 業務の効率化を図り、教職員の健康維持に配慮しながら、円滑な教育活動を推進する。 		
項目 (担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
総務部	現行の修学旅行を続けるかの検討と、3年間を見通した実施計画案の提案	職員アンケートを行い、近隣の高校の実施状況も調べ、本校の実態に合う実施計画案を作成する。	実施時期、目的、内容、成果について検討する。担任会や学年会の要望、生徒・教員のアンケート結果も参考にし、学校行事検討委員会へ提案する。
国際交流部	国際理解教育の推進と国際交流活動の促進	<ol style="list-style-type: none"> 1 オネフンガ高校への短期派遣を実施する。 2 留学生のプレゼンテーションや出前授業を実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 安全に留意し、異文化交流を積極的に行う心を育てる。 2 生徒の興味、関心を喚起する内容になるよう工夫する。
教務部	学習指導要領の改訂に伴うカリキュラムの編成に関する検討・協議	<ol style="list-style-type: none"> 1 各教科におけるカリキュラムの関する検討・協議を促す 2 昨年度まとめた学校の中長期的な目標を軸にカリキュラムの編成について考える 	<ol style="list-style-type: none"> 1 教科主任会やカリキュラム委員会での検討・協議を積極的に行う。 2 共通認識を持ち、各教科の検討を踏まえながら調整を行う。
図書部	図書館の環境整備と利用しやすい図書館づくりの推進	<ol style="list-style-type: none"> 1 空調設備の設置、館内レイアウトの工夫など、館内環境を整備する。 2 広報活動、図書部企画の推進により、生徒の読書意欲を高める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 よりよい資料を収集し、図書の見せ方・展示方法を考える。 2 校内掲示や「図書館だより」の定期的発行など、図書館からの情報発信に努める。
生徒指導部	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な生活習慣の確立と自転車走行マナー指導の充実 2 いじめ防止への取組など、安心・安全な生活について自ら考えさせる指導 	<ol style="list-style-type: none"> 1 遅刻指導と自転車走行マナー指導を徹底し、早朝指導を有効活用する。 2 いじめの早期把握に向けたアンケート活用や携帯電話の正しい使用等について考えさせる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 毎日の校門指導による遅刻防止と登下校の巡回指導により、マナー向上を呼びかける。 2 アンケートやネットパトロールなどで得られた情報を活用し、いじめ防止や安心・安全な生活についての取組を徹底する。
特活部	学校祭や部活動を通じた人間性や社会性の向上	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校祭を生徒会主体で企画・運営し、ブロックやクラス責任者のリーダーシップの下で創り上げる。 2 部活動に積極的に取り組み、異学年交流をする中で生きる力を育成する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校祭の準備に使用できる時間を計画的・効果的に活用する。 2 部活動は限られた日数や時間・場所で、効率的・効果的な練習方法を工夫する。
進路指導部	生徒が幅広い視野をもった進路選択ができるような進路指導の在り方の模索	<ol style="list-style-type: none"> 1 変化の激しい進路環境に適応できるように、進路ガイダンスや進路資料を充実させる。 2 特に、アセスメントテストの利用で、より充実した低学年指導ができるようにする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒だけでなく、教員の進路指導に関する知識も更新できるように、最新の進路情報を提供する。 2 普通科・総合ビジネス科、学年に関わりなく全ての教科の教員に協力を求め、指導の効率化と教員の負担軽減について配慮する。
保健厚生部	教育相談・特別支援の充実	健康観察を継続し、教育相談係会を定期的に持つことで支援を要する生徒の早期把握を心がけ、支援につないでいく。	支援を要する生徒についての情報共有を継続し、メンタルクリニックやS S Wなど外部機関との連携を図る。
商業科	科目相互間の体系化を図り育成したい力の明確化と単元ごとの段階評価、観点別評価の具体化についての研究	育成したい力の明確化と外部講師による講座や実践的なビジネス教育を体系化し、単元ごとの段階評価と観点別評価を具体化し、シラバスを作成する。	評価に時間と手間がかかりすぎないように留意し、授業のファシリテーターと評価者を同時にこなす難しさにも留意し、客観性のある評価材料を収集する方法を探る。

項目 (担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
学年	3年	1 第3学年としてリーダーシップを発揮できるよう自覚を促し、卒業後の進路やその先を見据えた責任ある行動がとれるよう支援する。 2 各教科・分掌と連携して各検査・補習・自主学習等を通して生徒の学習意欲を引き出し、学力の向上を支援する。	1 各授業やLT・KTを利用して最高学年であるという意識を持たせ、社会人になっても当たり前前の方が当たり前前に行けるよう指導する。 2 個々の進路に対する意識を高め、適切な目標設定ができるよう助言するとともに、進路希望の実現に向けてきめ細やかな支援を行う。
	2年	1 より具体的な進路目標の設定 2 自ら考え、他者を思いやって行動できる態度の育成	1 クラスや学年単位の指導だけではなく、個々の進路希望や興味・関心をより確かに把握するために、担任との面談等による指導も充実させる。 2 次の状況を予測してから行動するようにさせる。自分の行動が、相手にどう影響するか考えさせる。
	1年	1 高校生としての基本的な生活習慣の確立 2 自分の将来について考える態度の育成	1 落ち着いた学習環境（挨拶・時間の管理・正しい身だしなみ）を整え、望ましい学習習慣の定着につなげる。 2 進路サポートやその他の資料を活用し、将来の進路選択について向き合う機会をつくる。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		① 新学習指導要領をふまえた学力伸長につながる授業改善について研究・実践する ② 生徒の生活実態や人間関係の把握を進め、いじめの未然防止といじめ認知時の迅速な組織的対応に努める。 ③ 在校時間等の状況記録の集計結果等を衛生委員会等で確認し、1か月間の時間外労働が80時間を超える教職員数を減少させる具体的方策を検討・実施する。	